

# NEW SONG

## 新生讃美歌ニュースレター

## 『新生讃美歌』に期待して

### ～開拓伝道の場で賛美歌を考える～

教会音楽専門委員 藤井 秀一（酒田のぞみ）

わたしは5年前に酒田の開拓伝道に遣わされ、しばらく家族のみの礼拝を捧げていました。やがてその小さな礼拝の中に、地元の方が来てくださるということが起こってくるなかで、考えさせられたことの一つは、教会の外と中の文化的ギャップの問題です。特に地方の因習深い文化のなかで生きる方々が、何かのきっかけで礼拝に来られたとき、最初に遭遇する文化的ギャップは、おそらく賛美歌だろうと思います。

あるときこんなことがありました。一人の地元の高齢の壮年の方が礼拝に来てくださいました。ところがせっかく礼拝に来てくださったのに、賛美歌を歌ってくださらない。ただじつと賛美歌集を見つめるばかり。「なぜ歌われないのですか」と訊ねるわけにもいかず、歌が嫌いなのだろうかと思っていました。ところが『新生讃美歌』のなかの、バプテストの仲間が作った131番「イエスのみことばは」を歌い始めると、その方は固くつぐんでいた口を小さく開いて、歌い始められたのです。翻訳物ではない歌いやすさや、歌詞やメロディーへの親近感があったからかもしれません。いずれにしろ、その方が歌えなかったのは、歌が嫌いだからではなく、賛美歌の問題であったことに気がつかされるとともに、心をあわせて歌うことができる賛美歌を作ってくれたバプテストの仲間感謝いたしました。

この日本は、教会の外に一步出れば、聖書や賛美歌に触れたことのない人にあふれています。それは地方に行けばなおその傾向は強くなるでしょう。教会では自明の言葉、賛美が、教会の外の文化に生きてきた人々に、どのように届くのでしょうか。リアリティーのある言葉として福音が伝えられるために、今のままでよいのでしょうか。

わたしたちの礼拝は、人数が少ないこともあって、形式はある程度自由にしています。求道者が来られた時には、賛美歌を歌う前にその賛美歌の背景を短く説明してから歌ったり、なぜここでこの賛美歌を歌うのかを、一言添えてから歌ったこともありました。『新生讃美歌』オリジナル曲の背景を記したハンドブックを出したいと準備を進めています。賛美歌の言葉がこの地に生きる人々に、リアリティーをもって伝えられるために、ぜひ活用したいと思います。

そして教会は今、3.11の震災以後の世界に生きる人々に、リアリティーをもって届く福音の言葉、賛美歌をもっているのかが、問われています。それをバプテストの仲間たちから生み出していくために、これからの『新生讃美歌』の働きに期待しているのです。

## 曲名索引とミーター索引

教会音楽室長 江原美歌子（相模中央）

Q 新生讃美歌の巻末に曲名索引、ミーター索引がありますが、どのように使うのでしょうか？

曲名(チューンネーム)が使用されるようになったのは、詩篇歌が英国で盛んに歌われ、いくつもの詩篇歌集が出されたころです。その当時は、詞にそれぞれ曲が付けられていたのではなく、詞に対して、限られた曲の中から選んで歌われていました。曲にはニックネームが付けられ、例えば274番の詞でいうと、「み使いよ伏して」をCORONATION (274)、MILES LANE(275)、DIADEM(276)の違う曲で歌うことができます。

賛美歌は特定の詞に作曲されたものもありますが、詞と曲が後に組み合わせられて歌われたものもたくさんあります。例えば301番「いかなるめぐみぞ」などが挙げられます。詞はジョン・ニュートンによって1779年に書かれましたが、現在歌われている曲は白人霊歌としてしられる民謡的賛美歌で、アメリカの南部で発行された賛美歌集“Virginia Harmony”(1831)で紹介されたものです。年月を超え、海を隔て、この詞と曲の組み合わせで

歌われ、今では世界で愛される歌となっています。賛美歌の詞と組み合わせは、賛美される会衆にその“選び”が託されているといってもよいでしょう。

最近では、スタンダードな賛美歌(詞)に新たな曲が付されるなど、違う組み合わせでも歌われているケースがあります。或いはまた、現代の詞で紹介したいものがあれば、なじみの賛美歌につけて歌うこともできます。3年前の壮年大会では、新曲396番「のぞみの光の主イエス・キリスト」を馴染みの曲、431番「いつくしみふかき」や、92番「よろこびたたえよ」で紹介し、歌われました。歌いたい詞であっても、曲が難しいと歌われないケースも多々あるようです。新曲を紹介する方法として、お試しください。賛美歌にたくさん民謡が使われているのも、会衆に歌いやすい節で歌っていただくためのひとつの知恵だともいえるでしょう。

替<sup>う</sup>え<sup>た</sup>賛美歌をする場合知っておくと便利なのはミーター索引です。ミーターとは、俳句の5-7-5のように、賛美歌の行ごとに音節を数えたものです。

いかなるめぐみぞ (8)  
 かかる身をも (6)  
 たえなる恵みに (8)  
 いたしたもうとは (6)

「いかなるめぐみぞ」の場合は8686のミーターということになります。

8686のミーターで索引を探すと、31曲もあり、「いかなるめぐみぞ」を他30曲で、歌えるということになりますが、その場合、組み合わせがじっくりくるものとそうでないものがありますので、ぜひ、歌い比べてみてください。組み合わせがいろいろとあり、賛美歌のレパートリーも広がっていきますね。新しい詞と曲の組み合わせでオススメのものがありましたら、こちらまでお寄せください。

また、ミーター索引を利用して賛美歌を創作することにも、ぜひ挑戦してみてください。今回挿みこみの福岡連合の「賛美歌創作研修会」報告は、大変参考になります。具体的には、教会に必要とされていることば、3. 1 1 を経て起こされたことばを詞にして、たとえば、右の8686ミーターの表の中から曲を選び歌にすることができます。

ミーター8686	
41	いとも慕わしき
84	み神のみわざは
111	いざ主に感謝せよ
158	静かに小船きたる
170	ひつじかいたちが野宿の夜
217	緋の衣
218	恵みに輝き
220	茨をかむりし
224	主イエスは尊き (B)
225	主イエスは尊き (C)
277	たえにうるわしや
285	み神の栄えと
301	いかなるめぐみぞ
324	キリストにありて
325	キリストにありて (B)
355	主の備えられし
403	素晴らしきしるし
411	バプテスマ受けし
412	バプテスマ受けし (B)
418	主のことばにより (A)
419	主のことばにより (B)
420	わがためいのちを
438	主をほめ歌えば
449	祈りは口より (A)
450	祈りは口より (B)
487	主は牧者なれば
565	光のある間に
572	神わが助けぞ
595	主よみ前に立つ
616	主にのみ十字架を
620	主と共に歩まん

## 302番 主イエスの血しおを

高市 和久（市川八幡）

東日本大震災の日から、私は（テレビがないので）ラジオのニュースを聞き続けていました。その合間に紹介される、聴取者から被災地への励ましのメッセージが、判で押したように「がんばってください」と結ばれるのには心寒いものを覚えました。流れてくる音楽も勇壮なものばかりです。日本人は悲しみやうめきを分かち合うことをすっかり忘れてしまったかと思われました。

キリスト者は今何を語るでしょうか。教会には聖書と賛美歌という宝があります。詩編に多い「個人の祈りの歌」やイエスの受難物語は、苦難の渦中であって心の友となってくれます。これらの聖句をじかに用いた賛美歌も同様です。しかし、きょうは聖書のことばを心に留めながら自由に創作された賛美歌をご紹介します。

「主イエスの血潮を」（302番）には、キリストの受難への深い思いが刻まれています。短調であることに加えて、ひたすら四分音符が続くリズムも重い足を引きずるかのようです。しかしこの暗さが、打ちひしがれた人に「あなたはひとりではない」というメッセージを伝えるのです。ふだんの礼拝でも積極的に歌いたいものです。

**この身にまよえば**

原詞では「キリストの血とその義はわが身の飾り、栄誉の衣」。「飾り」はルター訳に25回あり、特に王の結婚を祝う詩編45:10が注目されます。教会が終わりの日にキリストの花嫁として身にまとう衣装がイエスの血潮で染められていることを示唆します。一方、「義を衣とする」は「義の胸当てを着けよ」（エフェソ6:14）を思わせ、その日まで正義を求めて歩むように勧めます。

**きびしきこの世も**

原詞は死後の裁きに確信を持って臨みうる幸いを歌っています。訳詞ではそれを2節に回して、原詞2節の「生きるにも死ぬにもわたしはイエスの傷に頼る」をここに持ってきたようです。もちろん死後の救いの確信は、この世で主に従う生きかたにつながります。

**わがため注がれときわにあがなう**

原詞は「賛美されますように、あなたがわたしと全世界のために永遠の身代金を払われたことが」。「全世界」が抜けて「わがため」だけが残ったのは、ちょっと残念ですね。

三十年戦争さなかの1638年ライプツィヒでの作詞に、ニコラウス・L・フォン・ツィンツェンドルフが2節以下を加えました。敬けん主義の家庭に育ったツィンツェンドルフは、『ローズンゲン』（日本語版は『日々の聖句』）の創始者でもあり、生涯苦しむ人々の友となることを忘れませんでした。その姿勢はこの詞からも感じられます。